

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、
安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

TPM活動報告会開催

当社は中期経営課題達成のためのツールとして TPM 活動に取り組んでおり、毎年活動成果を全社に水平展開すべく、全社活動報告会を開催しています。

この報告会は、各部署の代表サークルが自部署の改善内容や成果について報告するもので、今年は4サークルの特色ある取り組みについて、それぞれ工夫を凝らして報告しました。

報告者は、社長・役員からの報告内容に対する質問に答え、さらに改善に繋がるようアドバイスを受けました。サークルメンバーにとってもモチベーションアップに繋がり、また聴講した社員にも今後の活動の参考になる報告会となりました。

(担当部署：TPM推進室 077-534-0956)



プラント事業部



電製事業部



滋賀保全事業部



愛媛保全事業部

JIPM『輝』にわが社の自慢できる保全員・オペレーターとして紹介

公益社団法人プラントメンテナンス協会 (JIPM)の冊子『輝』(かがやき)に、当社の滋賀保全事業部 稲津昇と藤田一勝が、「わが社の自慢できる保全員」として紹介されました！

毎年6月に行われるJIPMの全国設備管理強調月間に合わせて、「わが社の自慢できる保全員・オペレーター」の募集があり、10月に発行された『輝』に、他社の保全員・オペレーターの方々と並んで当社社員のインタビュー記事も紹介されています。



上司と共に記念撮影



リモートでのインタビューの様子

7月に行われたインタビューでは、一時間ほどかけて工夫していることやこれからの取組について、じっくり話を聞かれました。

冊子は、JIPMのホームページでご覧いただけます
→ https://www.jipm.or.jp/up_file/1696469725-262479.pdf

(担当部署：滋賀保全事業部 077-515-2928)

高圧ケーブル敷設における、省力化・安全性向上とケーブル破損防止策

施設事業部

施設事業部は、東レの製造設備の建設工事などを担当しており、高電圧送電に用いる高圧ケーブル敷設工事も業務の一つです。

従来、高圧ケーブルの敷設は、人力や電動ウィンチによる牽引工法で行っていました。牽引工法では、高所や起伏の多い経路にケーブルを通す際、作業員の転落、強引な牽引でのケーブルやケーブルラックの破損などリスクがありました。

そこで、ケーブルを一定の速度と力で送り出すことができる『パワーボール』を使う工法に変更しました。駆動がインバータの『パワーボール』複数個を経路上に配置することで、牽引工法でのリスクを低減することができました。更に、省力化で作業効率も

向上し、コスト削減も期待できます。

(施設事業部 077-533-7295)

